

九州建設技術フォーラム 2019

- 日 程 2019年10月8日(火)・9日(水)
- 会 場 福岡国際会議場 1F・2F・3F・4F (福岡市博多区石城町2-1)
- 主 催 九州建設技術フォーラム実行委員会



【開催報告】

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨・概要

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。

今年は、メインテーマの「技術の力で、防災・減災、そして国土強靱化へ」を踏まえ、基調講演では防災・減災・縮災の専門家で関西大学特別任命教授の河田恵昭氏に講演いただきました。また、プレゼンテーション聴講者は、聴講を「CPD・CPDS 受講証明書」発行の条件としたところ前回より 800 人弱多い約 2120 名と大幅に増える結果となった。「リクルーティングプレゼンテーション」も、前回同様に多数の学生に会場いただきました。

また、同時開催イベントとして「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム第 3 回ピッチイベント」も行いました（※開催は 2 日目のみ）。

2. 開催結果

【開催日時】 1 日目：令和 1 年 10 月 8 日（火） 13:00～17:00
2 日目：令和 1 年 10 月 9 日（水） 10:00～16:30

【開催場所】 福岡国際会議場 1F ロビー、2F 多目的ホール、3F メインホール
（福岡市博多区石城町） TEL.092-262-4700

3. 実施内容

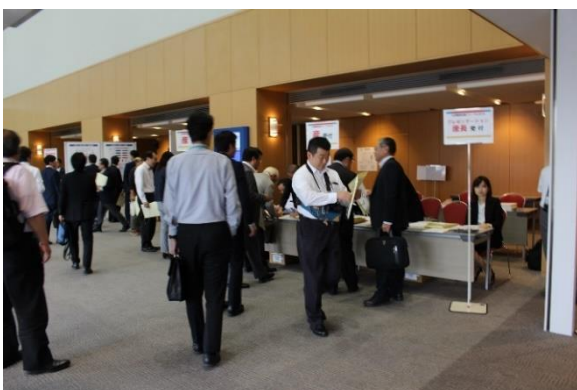
●会場内（玄関・ロビー）の様子



○会場正面玄関



○1F ロビー



○2F ロビー（受付状況）



○プレゼンテーション LIVE 中継

●開会式



○主催者挨拶

○実行委員

●1日目(8日)

(1) 基調講演 ※聴講者は 890 名

- ・演題：「巨大地震時の社会インフラの重要性」
- ・講師：河田 恵昭氏（関西大学特別任命教授）



○会場入口（講演資料配布状況）



1) プレゼンテーション

- ・時 間：発表時間 10 分 質疑応答・入れ替え時間 5 分
- ・テーマ：「品質」「ICT」「環境」「コスト」「行政（国）関係」「学会」
- ・発表数：22 テーマ（発表者数 20 者 企業等：17 学会：2 行政（国）：1）
 - ※学会：（公社）土木学会西部支部 （公社）地盤工学会九州支部
 - ※行政：九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所
- ・聴講者数：合計 996 人（402 会議室 566 人 403 会議室 430 人）



402会議室		
順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
1	分割式大型カルバート及び接合方法	82
	株式会社ヤマックス	
2	MITS工法（中圧噴射攪拌工法）	84
	MITS工法協会	
3	マッドミキサー工法	86
	株式会社 セリタ建設	
4	JACIGクラウド	72
	一般財団法人 日本建設情報総合センター	
5	地盤改良の施工管理システム Visios-3D	68
	株式会社不動産テトラ	
6	山岳トンネルの自動化・ワンオペレーション化	48
	鹿島建設株式会社	
7	最新3Dレーザ計測・モデリングサービス	47
	国際技術コンサルタント株式会社	
8	3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた 施工土量計測システム	30
	福井コンピュータ株式会社	
9	建設業向けデジタル野帳アプリeYACHO	20
	株式会社MetaMoJi	
10	平成30年度7月豪雨による北九州市八幡東区の 斜面崩壊について	29
	公益社団法人土木学会西部支部	

403会議室		
順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
1	スリットケーソンにおける老朽化対策について	72
	国土交通省下関港湾空港技術調査事務所	
2	まちづくりの夢・アイデアの紹介と支援	81
	一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部	
3	プレミックス船工法	48
	プレミックス船工法協会	
4	中性固化材・重金属不溶化材	41
	宇部マテリアルズ株式会社	
5	安藤ハザマ 次世代エネルギープロジェクト	40
	安藤ハザマ	
6	ジオドレーン工法	33
	ジオドレーン協会	
7	・平成30年7月西日本豪雨の災害調査報告 ・九州地盤情報データベースについて ・JGS九州支部70年記念事業について	49
	公益社団法人地盤工学会九州支部	
8	WILL工法（スラリー振動攪拌工法）	33
	WILL工法協会	
9	エポコラム工法（Loto・Taf・Pls工法）	23
	エポコラム協会 九州支部	
10	土留部材引抜同時充填工法	10
	協同組合Masters 地盤環境事業部会 九州土留部材引抜同時充填工法研究会	

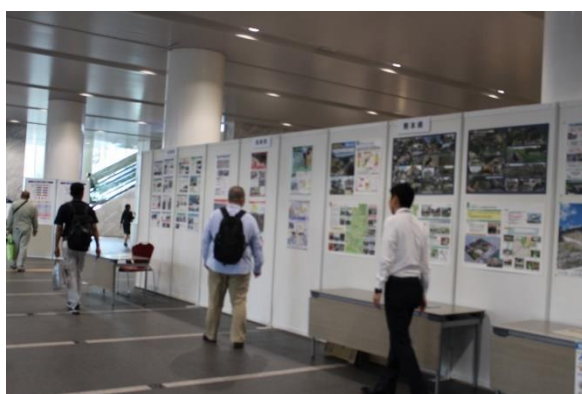
2) ポスターセッション

- ・ 出展数：8（協会等：4 学会関係：3 行政（国）：1）



3) 自治体パネルの展示

- ・ 出展自治体：10 自治体（福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 福岡市 北九州市 熊本市）



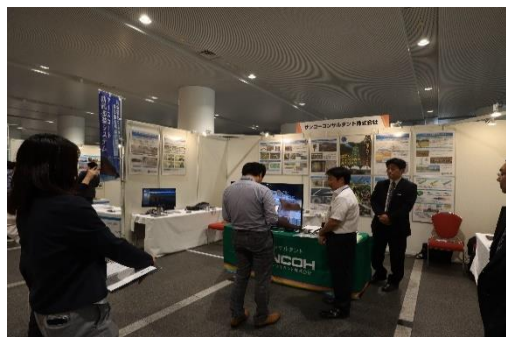
4) 技術情報の展示

- ・ テーマ：「安全防災」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「維持管理」学会・大学関係
- ・ 出展数：115 ブース（出展者数：1 階 11 ブース（屋外含む） 2 階 104 ブース）

▼ 2 階展示会場



▼ 1 階展示会場



5) 新技術・i-Construction 相談

- ・九州地方整備局施工企画課、九州技術事務所、九州地方整備局港湾空港部、下関港湾空港技術調査事務所の 4 部署による新技術の相談



6) リクルーティングプレゼンテーション（時間：14 時 30 分開始～約 90 分間）

～建設業界関係機関による、業務紹介のプレゼンテーションを実施。

【プレゼン参加機関】・・・6 社

- （一社）建設コンサルタント協会九州支部/（一社）日本橋梁建設協会九州事務所
- （一社）日本建設業連合会九州支部/（一社）日本埋立浚渫協会九州支部/
- （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部/
- （一社）全国測量設計業協会九州地区協議会



●2日目(9日)

(1) 技術情報提供

1) プレゼンテーション

- ・時 間：発表時間 10 分 質疑応答・入れ替え時間 5 分
- ・テーマ：「安全防災」「維持管理」「コスト」「行政（国）関係」「学会」
- ・発表数：31 テーマ（発表者数 30 者 企業等：27 学会：1 行政（国）：2）
 ※学会：（一社）九州橋梁・構造工学研究会
 ※行政：九州地方整備局九州技術事務所
- ・聴講者数：合計 1130 人（402 会議室 555 人 403 会議室 575 人）



402会議室		
順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
1	経済性に優れたハット形鋼矢板 日本製鉄株式会社	52
2	EDO-EPS工法 J-ウォールブロック工法 株式会社 JSP	40
3	固まる簡易舗装材カタマSP 日鉄スラグ製品株式会社	35
4	地盤切削・面体掘進による小断面非開削工法 鉄建建設株式会社	29
5	KVSストレナ Made in 新潟 新技術普及・活用制度(熊興和)	23
6	CPG工法 三信建設工業株式会社	23
7	STマイクロパイル工法 NIJ研究会 西日本支部	28
8	ジャイロプレス工法 一般社団法人 全国圧入協会	39
9	摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法 青木あすなろ建設株式会社	41
10	モデル施工による未評価技術の活用促進に向けて 国土交通省九州技術事務所	52
11	バンウォール工法・キャブウォール工法 PAN WALL工法協会	43
12	画像解析技術を利用した流量観測システム いであ株式会社	62
13	下部水密可動式無動力自動開閉ゲート 旭イノベックス株式会社	33
14	KDパネル ヒロセ補強土株式会社	33
15	RBPウォール工法 RBPウォール工法協会	22

403会議室		
順番	プレゼン者名・テーマ	聴講者数
1	・既設トンネルの効率的補修補強工法に関する研究分科会 紹介および活動報告 ・「道路橋復元設計の友」を作りました！ 一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会	35
2	アースコート防錆・塗装システム 三重塗料株式会社	34
3	詳細可視画像及び熱画像を用いた調査方法 株式会社保全工学研究所	30
4	SEFジョイント、耐疲労鋼を採用した伸縮装置 株式会社横河NSエンジニアリング	41
5	「土木の風」を吹かず九州地方整備局とデミーとマツの広報連携 国土交通省九州地方整備局企画部/ 噂の土木応援チームデミーとマツ	46
6	ジオファイバー工法 福岡県ジオファイバー協会・福岡県ニューレスプ協会	25
7	長寿部 JIPテクノサイエンス株式会社	24
8	バルテム・フローリング工法 バルテム技術協会 九州支部	32
9	テールアルメFS JFE商事テールワン株式会社	33
10	フル・ファンクション・ペープ(FFP) 株式会社ガイアート	35
11	ジョイントドレーン(橋梁用埋設型排水樹) 中大実業株式会社	42
12	地中埋設長さ測定装置「JTM-10」 エム・ケー開発株式会社	51
13	ボンドKEEPメンテVM工法シリーズ コニシ株式会社	58
14	舗装のメンテナンスに役立つ商品アイテム 東亜道路工業株式会社	52
15	社会インフラ画像診断サービス「ひびみっけ」 富士フィルム株式会社/株式会社ムサシ	37

2) ポスターセッション

・出展数：※8日・9日共通



3) 自治体パネルの展示

・出展者：※8日・9日共通

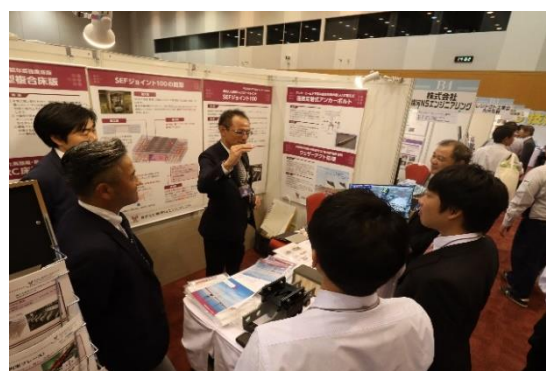
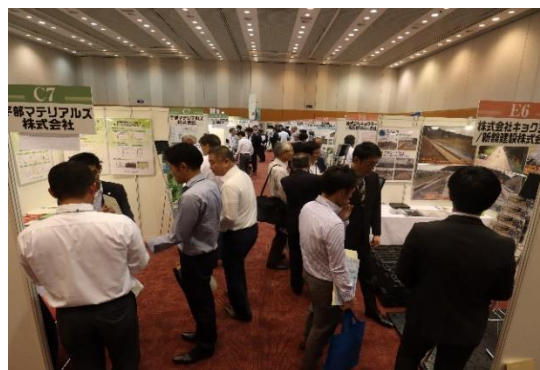
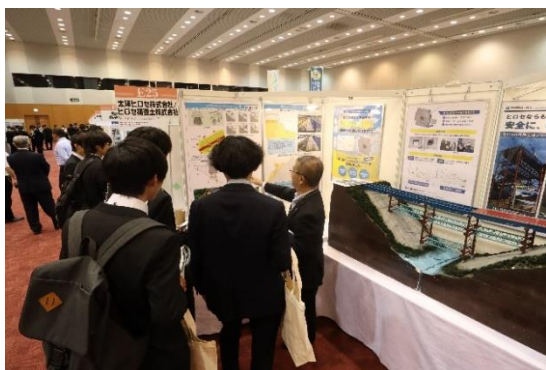


4) 技術情報の展示

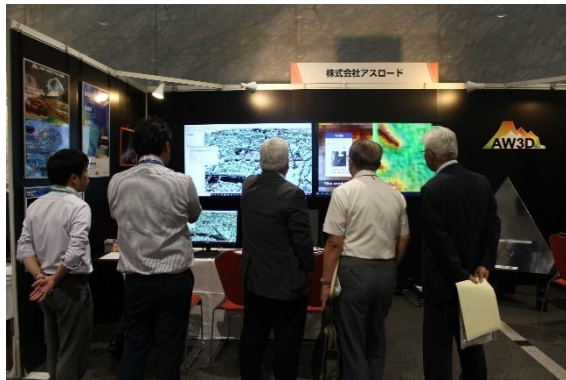
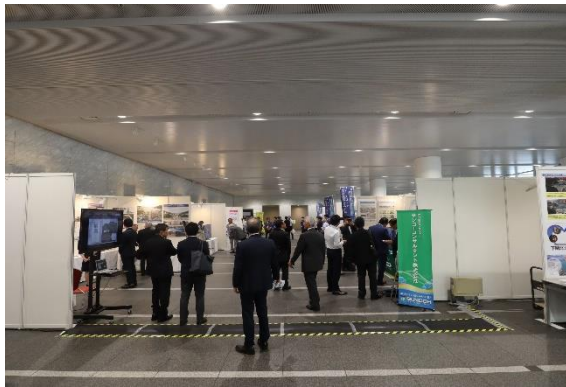
・テーマ：「安全防災」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「維持管理」 学会関係

・出展数：※8日・9日共通

▼2階展示場



▼1階展示会場



5) 新技術・i-Construction 相談

※8日・9日共通



6) リクルーティングプレゼンテーション (時間：10時20分開始～約90分間)

～建設業界関係機関による、業務紹介のプレゼンテーションを実施。

【プレゼン参加機関】 ※8日・9日共通

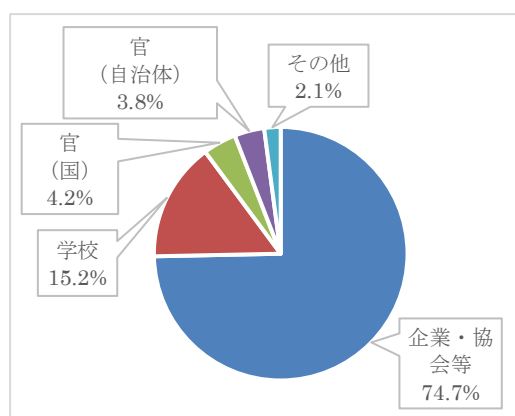


4. 入場者数

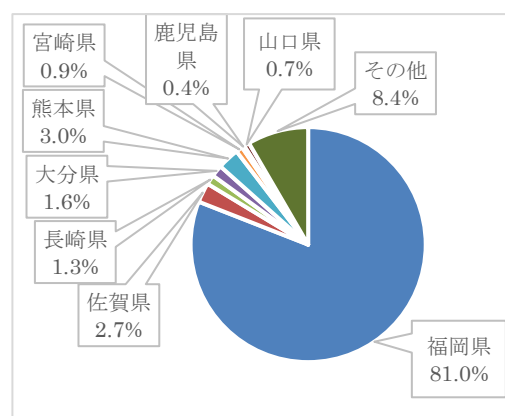
分類	出身	8日	9日	合計
産	福岡県	911	853	1,764
	佐賀県	34	25	59
	長崎県	13	16	29
	大分県	17	18	35
	熊本県	44	21	65
	宮崎県	14	6	20
	鹿児島県	4	4	8
	沖縄県	3		3
	山口県	8	8	16
	広島県	4		4
	大阪府	32	15	47
	京都府	1		1
	滋賀県		1	1
	香川県	1		1
	徳島県	4		4
	福井県	3	2	5
	三重県	5	1	6
	愛知県	6	2	8
	岐阜県		6	6
	神奈川県	2		2
	東京都	57	20	77
	埼玉県	2	1	3
	千葉県	1		1
	茨城県		1	1
	新潟県	4		4
	福島県	1		1
	宮城県	1		1
	北海道	5	1	6
	韓国	1		1
	小計	1,178	1,001	2,179
学	大学	223	50	273
	専門学校		170	170
	高校			0
	その他			0
	小計	223	220	443
官	国	30	94	124
	地方自治体	40	29	69
	その他	10	32	42
	小計	80	155	235
報道・その他		33	28	61
合 計		1,514	1,404	2,918

		8日	9日	合計
講演来場者	メインホール会場	890		890
プレゼン聴講者	402会議室	566	555	1,121
	403会議室	430	575	1,005
	小計	996	1,130	2,126

【産学官別入場者内訳】



【都道府県別入場者内訳】



5. 出展方法および所属団体別参加実績

□出展技術数内訳		(技術)
	ICT	24
	コスト	15
	安全・防災	50
	環境	13
	品質	8
	維持管理	45
合計		155

※学会・大学を除く

□ブース出展者履歴内訳		(組織)
	新 規	21
	出展実績有	93
合計		114

□ブース出展者所属団体内訳		(組織)
	日本建設業連合会 九州支部	9
	日本道路建設業協会 九州支部	1
	日本橋梁建設協会 九州事務所	0
	日本建設機械施工協会 九州支部	4
	日本埋立浚渫協会 九州支部	2
	プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	2
	全国特定法面保護協会 九州地方支部	4
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会	0
	九州コンクリート製品協会	4
	建設コンサルタンツ協会 九州支部	13
	その他(大学含む)	71
	学会	3
	発注機関	2
合計		115

※一部重複

□技術情報の提供方法		(組織)
	ブース展示+プレゼン	48
	ブース展示のみ	66
	プレゼンのみ	0
	カタログのみ	0
合計		114

□プレゼン参加内訳		
	プレゼン参加出展者・機関	50
	●プレゼンテーマ別コマ数	(コマ)
	ICT	6
	コスト	7
	安全・防災	10
	環境	5
	品質	3
	維持管理	13
	その他(学・官)	9
合計		53

□出展者所在地		(組織)
	福岡	73
	佐賀	4.5
	長崎	0.5
	大分	3
	熊本	2
	宮崎	1
	鹿児島	1
	関東・甲信越地方	13
	近畿地方	4
	中部地方	5
	山口・中国地方	2
	北陸地方	1
	四国地方	0
	北海道	2
	東北地方	2
合計		114

0.5は佐賀大学
0.5長崎大学

展示種類	出展機関所属団体	出展数	
ブ ー ス 展 示	日本建設業連合会 九州支部	産	16
	日本道路建設業協会 九州支部		2
	日本橋梁建設協会 九州事務所		2
	日本建設機械施工協会 九州支部		4
	日本埋立浚渫協会 九州支部		2
	プレストレストコンクリート建設業協会		3
	全国特定法面保護協会 九州地方支部		2
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0
	九州コンクリート製品協会		3
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		16
	その他		66
	土木学会 西部支部	学	1
	地盤工学会 九州支部		1
	九州橋梁・構造工学研究会		1
	西日本高速道路	発注機関	2
合 計			121
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	日本建設業連合会 九州支部	産	0
	日本橋梁建設協会 九州事務所		1
	プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		1
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		1
	土木学会 西部支部	学	1
	地盤工学会 九州支部		1
	九州橋梁・構造工学研究会		1
	西日本高速道路株式会社	発注機関	1
	九州地方整備局		1
	福岡県	官(自治体)	1
	佐賀県		1
	長崎県		1
	熊本県		1
	大分県		1
	宮崎県		1
	鹿児島県		1
	福岡市		1
	北九州市		1
	熊本市		1
	インフラメンテナンス国民会議/インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム	その他	1
	合 計		
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	日本建設業連合会 九州支部	産	7
	日本道路建設業協会 九州支部		2
	日本橋梁建設協会 九州事務所		1
	日本建設機械施工協会 九州支部		3
	日本埋立浚渫協会 九州支部		2
	全国特定法面保護協会 九州地方支部		1
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0
	九州コンクリート製品協会		2
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		3
	その他		32
	土木学会 西部支部		学
	地盤工学会 九州支部	2	
	九州橋梁・構造工学研究会	2	
	局企画部・デミーとマツ	官+学	1
	九州技術事務所	発注機関	1
	下関港湾空港技術調査事務所		1
	合 計(コマ)		
	※プレゼンプログラム参加団体・機関数		50組織

※一部重複

※一部重複

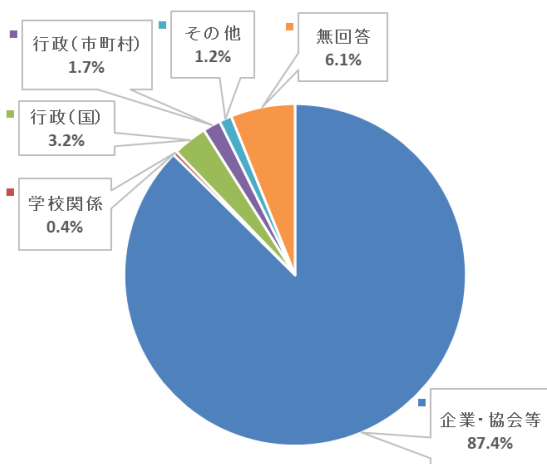
※一部重複

※一部重複

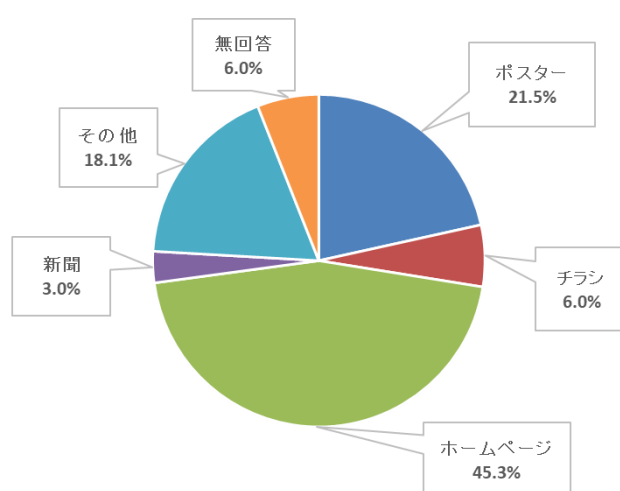
6. 来場者等へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】（アンケート集計数：1017件）

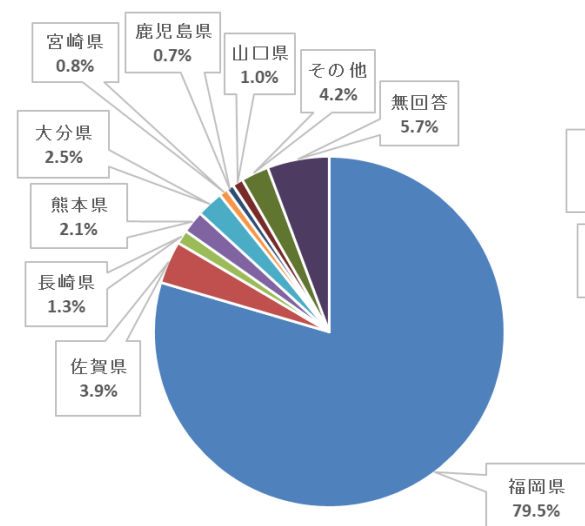
●職業は？



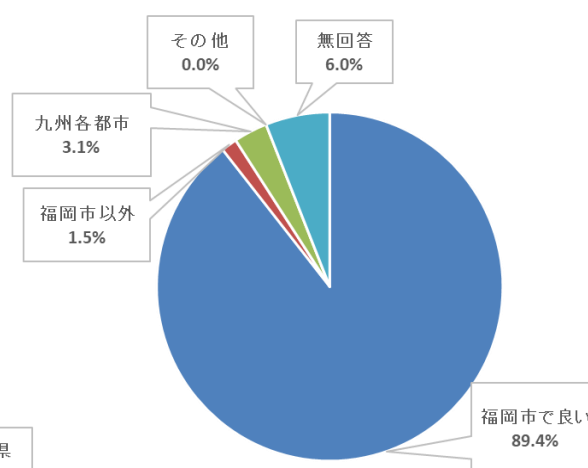
●何で知りましたか？



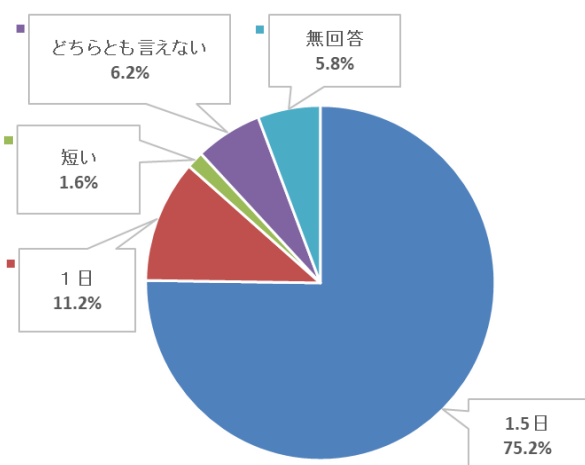
●どちらから来られましたか？



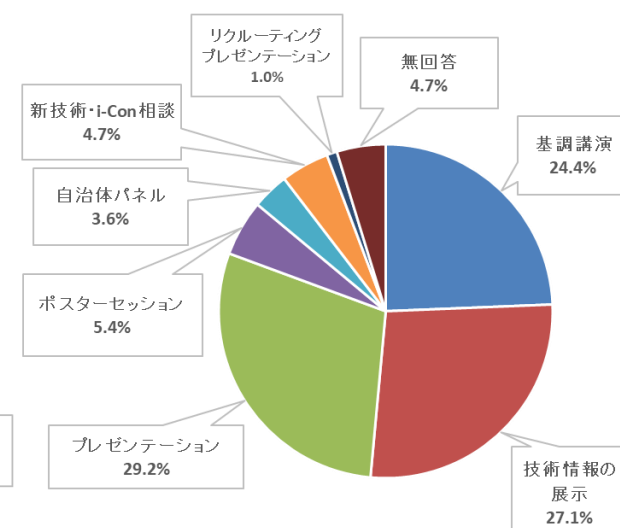
●望ましい開催地は？



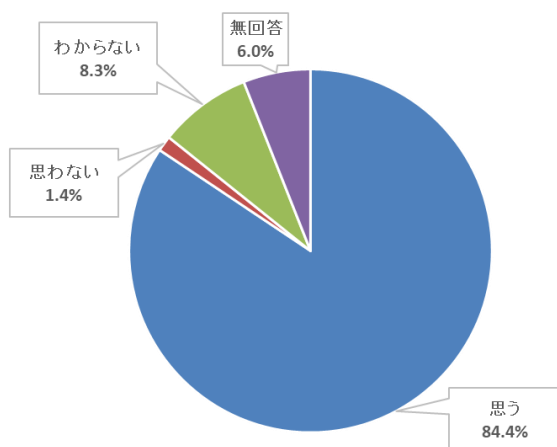
●開催日数の希望は？



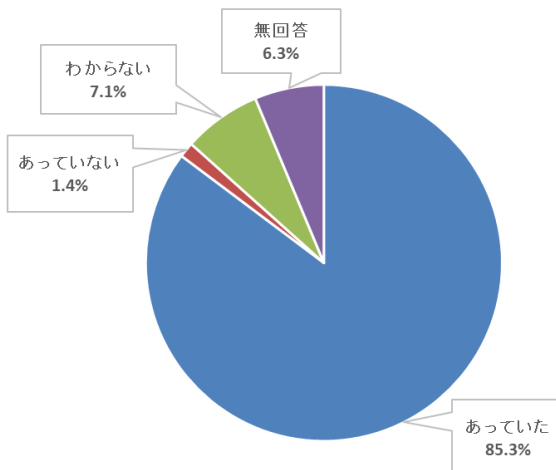
●印象に残ったプログラムは？



●今後参加したいですか？



●内容は開催趣旨に合っていたか？



【学 生】（アンケート集計数：85件）

●関心を持ったプログラムは？

